

23-09-06

ドローンと自動運転車の連携による 農産物・日用品輸送の実証実験を実施します

名古屋鉄道は、国土交通省が公募した「無人航空機等を活用したラストワンマイル配送実証事業」に愛知県と共に申請し、採択されたことに基づき、「幸田町におけるドローン・自動運転車連携による農産物・買い物支援輸送」を実証テーマとした実証実験を実施します。

記

1 実施体制

- 代表者：名古屋鉄道株式会社
- 共同実施者：愛知県
- 協力事業者等：株式会社プロドローン（ドローン機体運航）
アイサンテクノロジー株式会社（自動運転車の運行）
幸田町（実証実験協力）
大同大学（実証実験協力）
- 委託元：パーソルプロセス&テクノロジー株式会社
（国土交通省 無人航空機等を活用したラストワンマイル配送実証に関する調査業務 事務局）

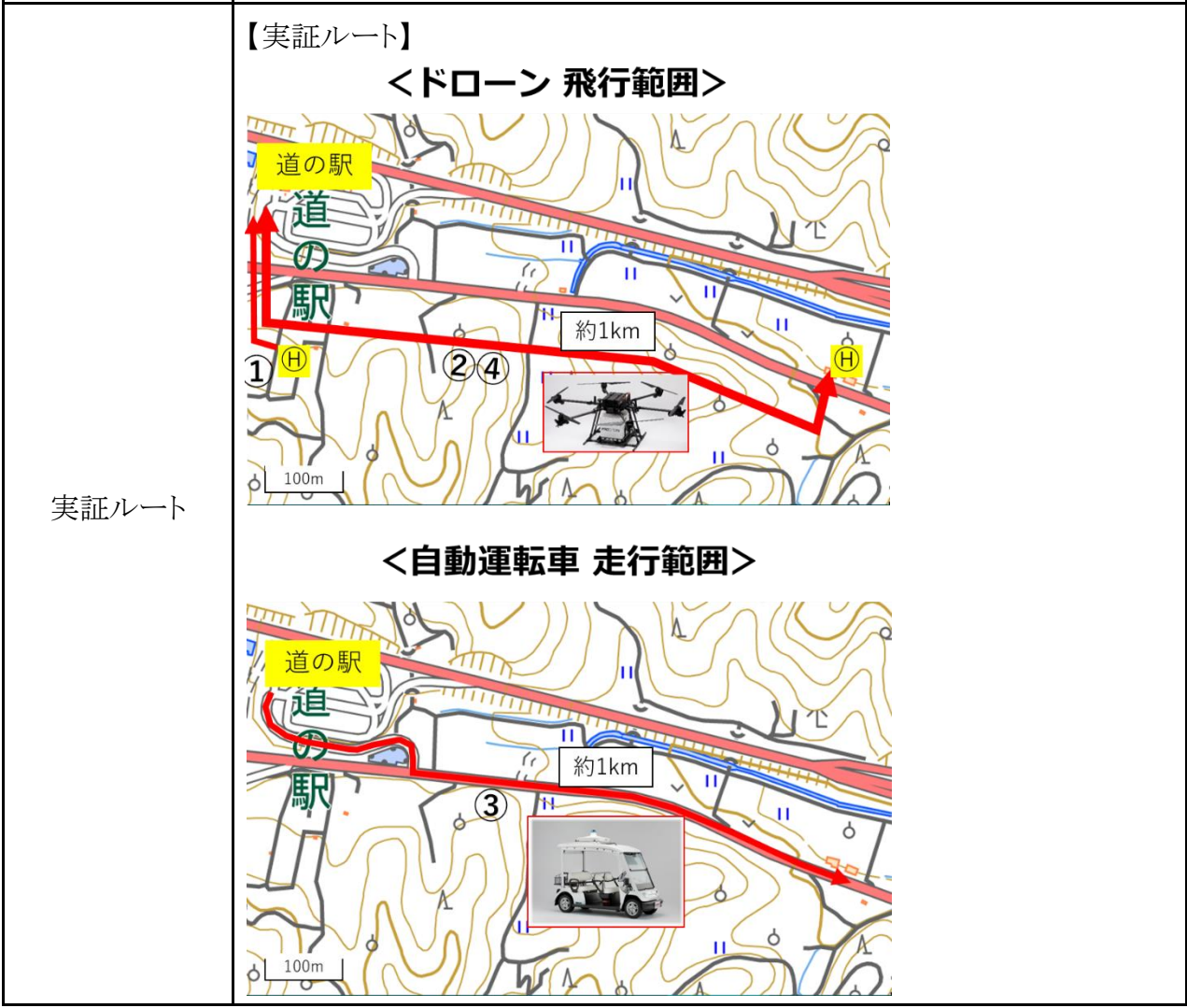
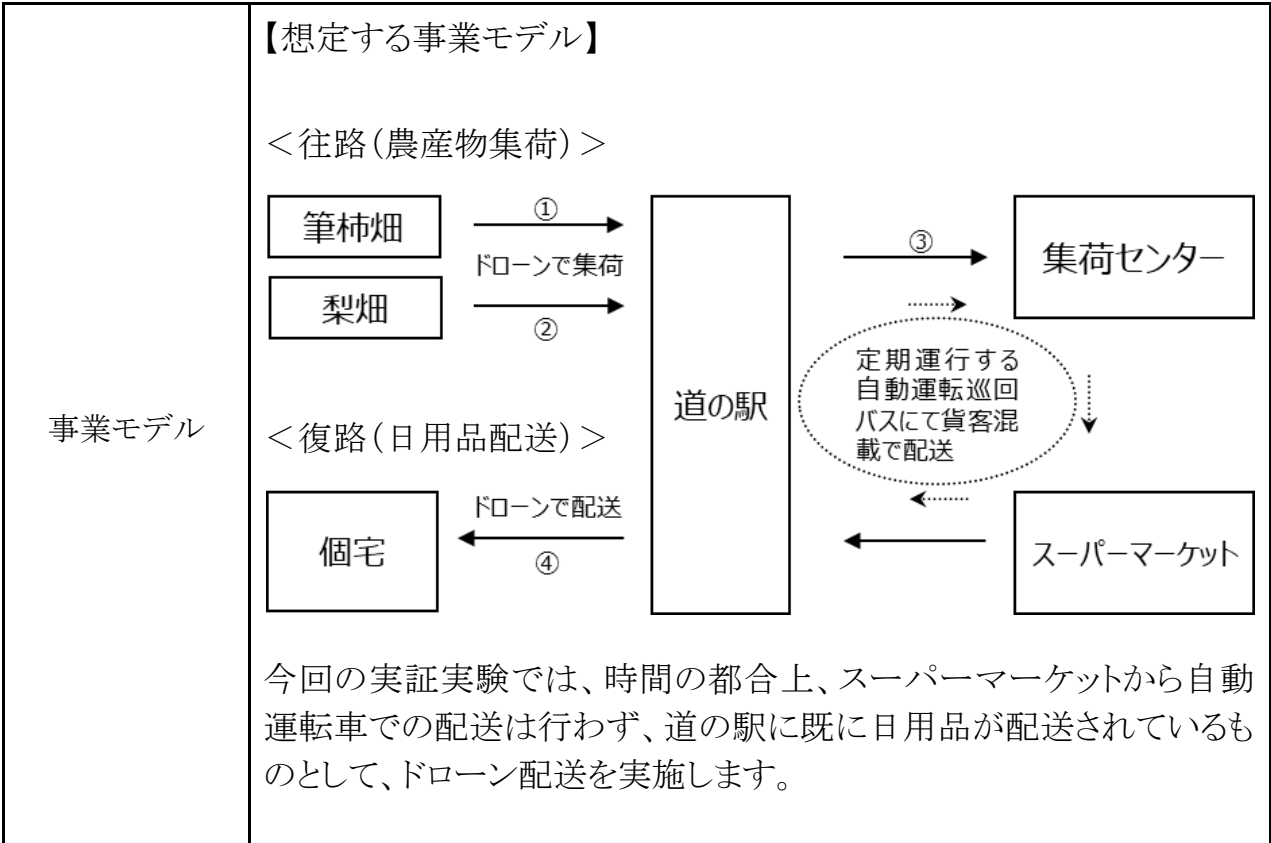
2 実施予定日

9月22日（金）11：00から

※荒天の場合は予備日（9月23日（土）11：00から）に順延します。

3 実施内容

実証テーマ	幸田町におけるドローン・自動運転車連携による農産物・買い物支援輸送の検証
実験内容	<p>幸田町山間部においては、人口減少や高齢化の影響により、通勤・通学や買い物の利便性に課題を抱えています。また、「筆柿」がブランド品として日本一のシェアを誇っているものの、高齢化や人材不足の影響により、販売量減少が懸念されています。</p> <p>その解決策として、農産物輸送と買い物支援輸送をドローンと自動運転車（自動運転車は、地域を巡回するコミュニティバスとして定期航路を走行している想定で、これに荷物を混載する運用。）の連携により実施し、農業の担い手不足の軽減や販売量増加、買い物の利便性向上を目指します。</p> <p>実験に際しては、ドローンはレベル3（無人地帯での目視外飛行）想定で飛行し、自動運転車はレベル2（システムが前後・左右の両方の運転操作を支援）で走行します。</p>



【使用予定のドローン】

株式会社プロドローン製「PD6B-Type3」

【スペック】

機体サイズ:2,181mm×2,398mm
推奨ペイロード(最大積載量):20kg
飛行時間:20分(4.9kg 搭載時)

【特徴】

ドローン配送本格運用機体。
IP44(※1)をクリア。



※1 防塵・防水性能規格

【使用予定の車両】

・自動運転 OS Autoware(※2)及び事前に取得する高精度 3D マップを使用して走行。
・自己位置推定、障害物認識等の機能を実装。
乗車定員は2名(別途、オペレータ等が同乗)
ヤマハ発動機 開発のゴルフカートをベースに、自動運転専用に変更した車両で、LiDAR を天井に搭載。



※2 自動運転システム用オープンソースソフトウェア。

The Autoware Foundation の登録商標。

本件は、名鉄グループ中期経営計画「Turn-Over2023 ～反転攻勢に向けて～」(2021～2023 年度)の重点テーマに掲げる「交通事業の構造改革」および「今後成長が見込まれる分野の収益力強化による収益構成の見直し」の「先端技術を活用した取組みの推進」の一環として取り組むものです。

以上